

理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～ 平成23年2月22日

～ 本校の研究者達 その2 ～

空から見た神宮寺の自然～大浦沼～ 6年 嵯峨明歩さん 齊藤恵美さん

1. はじめに

神宮寺には、大浦沼という沼がある。空を飛んでいる鳥からはどのように見えるのか不思議に思ったので調べた。

2. 調べる方法

- ①ヘリウムガスを入れた風船にカメラをつり下げて、写真をとる。(図-1)
- ②できた写真をよく見て調べる。
- ③大浦沼の周りを歩いて調べる。
- ④図鑑を用いて植物を調べ、地図を作る。

3. 調べた結果

- ①ヒシやヒツジグサ、コウホネが水面をおおい、それらは場所によって広がり方が異なる。(図-2)

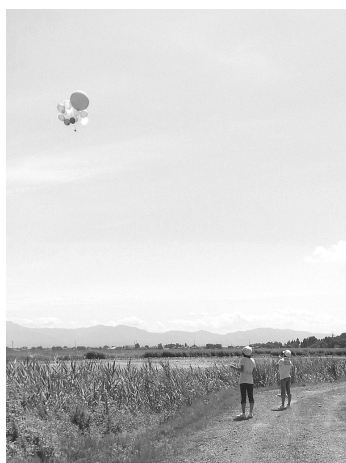


図-1 撮影中の様子



図-2 上空から見た大浦沼(写真上から沼を覆う植物, 道路, 水田)

- ②ヒツジグサが、沼を横断するように生えていて、橋のようになっていた。
- ③沼の周りにたくさん草や花が生えていた。(ヒメジョオン、ツユクサ、サワヒヨドリ、アシなど)
- ④ミサゴがいて、沼にいる魚を食べていた。
- ⑤地上では風がないと思って風船を上げて、上空のほうでは風があり、強く引っ張られることがあった。地上と上空では風の流れる方が異なるようだ。

4. おわりに

今回の研究で、大浦沼の自然の様子がよく分かった。そして、神宮寺の自然を、以前よりも好きになった。

これから秋～冬にかけてどう変化していくか、観察を続けたい。そして、この自然を守って行きたいと思う。

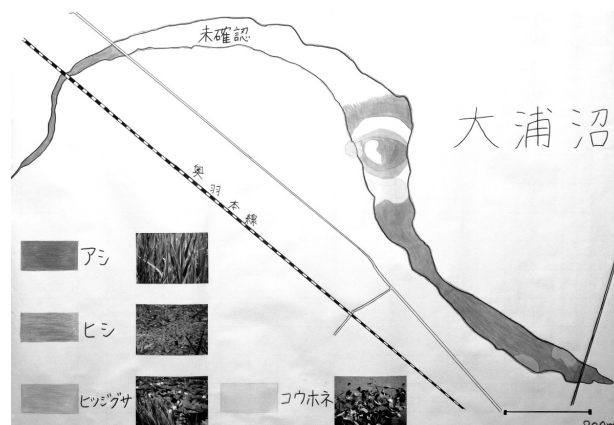


図-3 大浦沼をおおう植物の分布図